

# 苫小牧市教育委員会会議録

会議区分	苫小牧市教育委員会 第 7 回 定例委員会
日時	平成29年6月30日 自 15時00分 至 15時23分
場所	市役所本舎9階会議室
出席委員	教育長 和野 幸夫 委員 上原 毅 委員 佐藤 郁子 委員 佐藤 守 委員 植木 忠夫
欠席委員	
会議録署名委員	佐藤 郁子 委員
会議録作成職員	総務企画課主事 前田 亜矢子
事務局職員	教 育 部 長 瀬 能 仁 教 育 部 次 長 山 口 朋 史 教 育 部 参 事 丹 野 靖 彦 総 務 企 画 課 長 釜 田 直 樹 学 校 教 育 課 長 斎 藤 貴 志 総 務 企 画 課 主 査 下 濱 辰 哉 総 務 企 画 課 主 事 前 田 亜 矢 子
会議案件	別紙のとおり
会議の経過概要	別紙のとおり

1 委員会開会の宣言（和野教育長）・・・15時00分
2 会議録署名委員の指名（佐藤郁子委員）
3 会議録の承認
（和野教育長） 第5回定例教育委員会（平成29年5月26日開催）の会議録について、このとおり調製することとしてよろしいでしょうか。
（一同「はい」の声）
-会議録どおり承認-
4 教育長の報告
（和野教育長） 前回5月26日の定例教育委員会からの事業などについて報告いたします。
6月2日に、平成29年度苫小牧市PTA連合会定期総会が文化会館で開催されました。私から、本市の子供たちは電子メディアなどを使用する時間が長く、本を読む時間が短い傾向があるため、親子のコミュニケーションを広げ、子供たちの心の成長を促す「親子読書」に積極的に取り組んでいただきたいと挨拶をしております。平成28年度の事業・決算の報告及び平成29年度の新役員と運営方針・予算等が承認され、新連合会会長には開成中学校PTA会長の喜多新二さんが就任されました。
6月3日に、平成29年度美術博物館大学講座入学式が開催されました。152名の方から応募があり、定数を上回りましたが全員に入学していただきました。この大

学講座は昭和61年にスタートし、280回を超える講座を開催しております。私から、高い学習意欲に敬意を表するとともに、2月17日の第9回の講座まで元気に参加いただきますようお願いをいたしました。

6月4日には、第39回歯と口の健康に関する図画・ポスターコンクール表彰式が開催されました。今年は239件の応募があり、小学校1年生から3年生の低学年の部167点の中から6点、小学校4年生から6年生の高学年の部72点の中から6点が、北海道胆振総合振興局長賞や苫小牧市長賞などを受賞されております。私から、低学年の部で若草小3年生の中嶋埜那さん、高学年の部で明野小4年生の石川悠衣花さんに教育長賞を授与しております。いずれの作品も、力強く一生懸命に「むし歯予防」を訴えたポスターでありました。

6月6日にはアートシアター実行委員会が開催されました。今年で7年目を迎えるアートシアター事業ですが、今年は「スターダスト・レビュー」の北海道スペシャルライブを開催することに決定いたしました。

6月7日に、岩倉市長を発起人代表として春の叙勲受章祝賀会が開催されております。各委員にも出席いただき、ありがとうございます。前教育委員長の吉本俊憲さんが地方教育行政功労として旭日双光章を受章されました。また、保護司及び社会教育委員会議議長としてお力添えをいただいております山口孝昭さんが、警察功労として瑞宝単光章を受章されております。誠にめでたうございます。

6月24日には、啓北中学校山なみ分校体育大会が何年ぶりかの雨のない天気で開催されました。上原教育長職務代理者を先頭に地域の有珠の沢町内会のご協力をいただき、また、本校生徒、旧教職員のお手伝いにより和やかな雰囲気で開催されました。残念ながら子供たちは少なくなっておりますが、日頃の練習の成果を十分に発揮できた大会になったと思います。

同じく6月24日には、苫小牧市子ども会育成連絡協議会50周年記念式典が開催され、教育委員の皆様にもご出席をいただき、全体で200名近くの記念式典・祝賀会となり、大変盛大に開催されました。

次に、第11回苫小牧市議会定例会についてであります。議案説明会を6月7日に
開催し、6月15日から23日の会期でありました。今回提案の補正予算には、先の
臨時教育委員会で承認いただきました学校事故についての損害賠償に係る経費が含ま
れておりましたが、事前に正・副議長や各会派代表に要点の説明を行い理解を得てい
たこともあり、無事に承認をいただきました。
一般質問では、13名の議員から19項目にわたって質疑が行われました。この質
疑の中で、児童の通学時の交通事故を防ぐ等の安全確保のため、黄色い帽子を配付し
てはどうかとの提案がありました。1個で1,000円程度、今の学校規則では帽子
は制服扱いとなり、冬期間は寒さ対策にならないなどの課題があります。後ほど会議
の「その他」におきまして、教育委員の皆様のご意見をお伺いしたいと考えておりま
す。今後の事務局の検討材料にさせていただきますので、よろしく願いいたします。
他の質問項目では、男女平等参画基本計画に関して、学校現場での取組についての
質疑があり、本市では日本女性会議開催に先駆け、小学生副読本「のびゆく苫小牧」
に男女平等参画都市宣言を掲載し、3・4年生の授業で宣言文を学ぶこととしている
との答弁をしております。また、教育推進企画会議、親子読書、道徳の教科書選定方
法、学校トイレの洋式化の促進、草刈り事故後の改善策、科学センターの建て替え、
教員の時間外勤務の改善、文化的財産の保護などの項目について質疑がありました。
内容につきましては、別途お知らせいたします。
以上で報告を終わります。本日のご審議よろしく願いいたします。
報告は以上でございますが、ご質問等はございますか。
(一同「なし」の声)
5 議 案

(和野教育長) 本日は審議する議案はございません。
6 協 議
(和野教育長) 協議事項をお持ちの方はいらっしゃいますか。
(一同「なし」の声)
7 その他
(1) 平成29年度 教育施設訪問の日程(案)について
(総務企画課主査) -平成29年度 教育施設訪問の日程(案)について説明-
(和野教育長) 内容について質問等はございますか。
(一同「なし」の声)
(2) 通学帽の導入について
(教育部参事) 6月15日から開催されました第11回定例市議会の一般質問におきまして、通学時の安全確保対策の1つとして、子供たちに通学帽、一般的には黄色が多く使われている通学帽を着用させてはどうかという提案を、議員からいただきました。

<p>通学帽につきまして、本市では使用している学校はございません。それに代わる安全対策として、蛍光反射材が付いた交通安全ワッペンや蛍光色のランドセルカバー等の取組が行われております。新たに通学帽の導入を検討する場合、次のような効果及び課題があると考えております。まず、効果については、黄色等の視認性の高い色の帽子をかぶることにより、車のドライバー等に発見されやすくなるという被視認性が高まること、また、多くの児童が着用することで地域住民に登下校の時間帯等を強く意識させられること、着用による夏場の日射病対策などが挙げられます。一方で、課題として、保護者の購入とした場合には1人あたり1,000円から1,500円程度の費用負担が発生すること、また市が支出する場合は毎年恒常的に150万円程度の支出となることが挙げられます。また、この費用以外にも、成長に伴う買い替え費用も想定の中に含まれると考えております。また、北国で通学帽の普及率が低い現状がございますが、冬期間の使用ができないため、費用対効果等からランドセルカバーになっているということが課題として考えられます。</p>
<p>以上、通学帽の導入に係る効果と課題についてご説明させていただきました。今後の検討にあたり、委員の皆様のご意見をいただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p>
<p>(教育長) 議案として提案している訳ではありませんので、率直な意見をそれぞれいただき、参考にさせていただければと思います。</p>
<p>(上原委員) 意見を出した方の意向なのですが、例えば小学生や中学生、あるいは新一年生とか、対象についてはどのような意向なのでしょう。</p>
<p>(教育部参事) 意向としましては、まずは低学年の入学して間もない子供たちにとのことです。順次、全学年に拡大することも考えて欲しいというようなご意見がありました。</p>
<p>(教育長) 一度にやるのではなく、1年生に導入すればずっと持ち回りになりますので、毎年1,500人程度の1年生になる子供たちに渡していけば良いということになると思います。</p>

<p>(上原委員) もう1点、よろしいでしょうか。実際に私も通学されている児童・生徒さんをけっこう見るのですが、今は名前も隠しています。ですから、交通事故とかそのような点でいくと確かに視認性はあるのかも知れませんが、現在そのような状況の中で、例えば新入生だけということになると、帽子をかぶっていると新入生だということがすぐにわかりますし、そのような反面も考えていく必要があるのかなという気がいたしました。</p>
<p>(和野教育長) 防犯という観点ですね。</p>
<p>(上原委員) そうです。</p>
<p>(佐藤守委員) 紅白帽というか体育帽については、全学年使われていると思うのですが、あれは保護者が買っているということですよ。あれを、通学の時には赤でかぶらせて、体育の時には白でかぶらせている学校もあるように聞いています。その紅白帽との兼ね合いみたいなものについて、何か教育委員会で把握していることはありますか。</p>
<p>(教育部参事) 日本全国で調べますと、実は紅白帽で実施している学校もございませう。学校によっては、白、黄色や黄色、赤にして、通学時には黄色を出してかぶるといふことで実施している市町村もあると把握しておりますが、これも県ごとにかなり取り決めが違ふという現状でございませう。また、防犯上という話がございませうが、防犯上の部分につきましても、実はそのことを理由に近年通学帽をやめたという県もあると把握しております。</p>
<p>(植木委員) そもそも、登下校時の児童・生徒の事故数というのは、ここ数年どうなっていますか。横這いなのか、減少しているのか、増加しているのか、どうなのでしょう。私の認識では、それ程増えおらず、むしろ下校後の遊びの中での事故が多いと押さえており、登下校だけの問題ではないのかなと思っているのですが、その辺の事故数はどうなっていますか。</p>
<p>(教育部参事) 事故数について、実は、今年度、昨年度及び一昨年度につきましても、報告しなければならぬような登下校時の事故は発生しておりませう。報告する</p>

<p>必要がある全治1週間以上の交通事故は、全て放課後の事故になっております。そのうちの9割以上は自転車による事故、自転車で遊んでいる時の事故がほとんどであるという状況です。</p>
<p>(佐藤郁子委員) 議員のご意向の中に、具体的にこのようなことがあるから事故防止に役立つのではないかとというような説明はありましたか。</p>
<p>(教育部参事) 全体を通しまして、まずは全国各地で実施しているところが多いことから、それは効果があるので使われているのであろうということで、良いことは実施すべきだという意向であったというふうに押さえております。</p>
<p>(佐藤郁子委員) 効果があったということについて詳しい説明は特になくて、特に道内に絞ってとか、東北・北海道とか限定ではなく、ただこういう話を聞いているので効果があるのではないかとというようなお話だったのですか。</p>
<p>(教育部参事) 説明の中では、砂川市の例を出しておりました。砂川市が、飲酒運転撲滅運動の流れの中で、一昨年度からと私は押さえておりますが、寄附・寄贈されたものを基にして入学する1年生全員に通学帽を配付しているということで、北海道でも交通安全対策として実施しているところがあるというお話でした。</p>
<p>(佐藤郁子委員) ありがとうございます。</p>
<p>(和野教育長) 賛否が分かれたというよりは、委員の皆様の考え方としては否定的なのかなという印象を私は受けました。もう少し校長会やPTAなどの意見も聞きながら、方向性を出したいと思っています。全部の学校で全員がという取り組みについては少し難しいところもありますので、気になる学校などがありましたら先行導入する等、そのようなことも含めてできないかなということも考えさせていただきたいと思っております。</p>
<p>(佐藤守委員) これでいくと、中学校の帽子もという話になってきそうですね。そうになると、やはりPTAの意見というのが一番重要になってくるのではないかと思います。今は服装も多様化してきておりますので、黄色い帽子であれば別に指定帽子でなくても、自分のところで黄色い帽子をかぶっているから良いのではないかと、当</p>

然今の世の中はいろいろな話が出てくると思います。北海道の場合は冬場の関係もあるので、それよりも自転車で遊ぶ時はヘルメットをかぶるように強制的にした方が、交通安全の面からは良いような気がいたします。

(和野教育長) 帽子は制服扱いになるということがあるので、そこまで縛らなくても良いだろうとは思っています。安全対策として帽子をかぶるという方法にしなければ、逆にいろいろな締め付けが出てくるだろうと思います。そのところは、制服という扱いはしないようにしたいと思っております。

(佐藤郁子委員) 事故防止が目的であれば、すぐ帽子を導入するという方向へ行く前に、先ほど佐藤守委員からお話がありましたように、PTAの話を知るとか、一番は通学する児童・生徒たちに、帽子がなくても事故が防止できるのであればそちらの方法を探せば良い訳です。もう1つは、参考にする街の規模について、人口17万人の都市なのか、5,6万人なのか、それとも地域の人が皆顔見知りのところなのかというところで扱いは随分変わると思いますので、効果があるかどうか、はっきりした事例があれば考えていかなければならないのかも知れませんが、まずはかぶる本人たちが、事故防止のために帽子でできるかどうかというところから、いろいろな方の意見を聞いた方が良いような気がいたしました。

(上原委員) 大きなテーマでは、安全対策ということですね。今、佐藤郁子委員からお話があったように、いろいろな安全対策とか教育とか、そういうものはやってきている訳で、その現状のやってきていることについて効果があるのかないのか、そのようなことも調べてみる必要があるのではないかという気がいたしました。やはり、いろいろなそういった面から取り組んでいくというのが第一ではないかと思えます。

(和野教育長) その他、特にご意見がなければ一度ここで終わりにさせていただいて、また協議結果等についてはご説明させていただきたいと思えます。

8 委員会閉会の宣言 (和野教育長)・・・15時23分